



令和 4 年度 施策評価表

施策	2301	地域コミュニティの活性化	施策担当部	市民環境部	部長	杉野 幸夫
			施策担当課	地域げんき課	課長	中村 浩樹
施策の方針	地域コミュニティの活性化を図るための支援を行う。また、町内公民館の施設整備に対する支援を行う。					
関連するSDGsのゴール	 					

【DO（実施）】
後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 隣近所や地域と交流やつながりがあると感じている人の割合	%	46.3	47.5 44.4	48.1	48.7	49.3	49.9	93.5%	89.0%
② 町内会加入率	%	76.8	76.8 73.3	76.8	76.8	76.8	76.8	95.4%	95.4%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

新興住宅地等へ転入・転居した市民の未加入者が増えている。家族関係を重視し、地域との関係性を望まない傾向がみられ、地域コミュニティの衰退が地域力の低下や町内会の加入率低下に直結している。
町内会組織を活性化する支援、町内活動を気持ちよく実施できる支援を行い、地域活動の大切さや楽しさを実感できるような後方支援の充実が必要である。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	50,382	61,176	60,348	
	国庫支出金	4,722	4,944	4,456	
	県支出金	2,400	6,375	2,700	
	地方債	0	0	0	
	その他	2,000	3,800	5,666	
	一般財源	41,260	46,057	47,526	
	人件費	23,464	28,162	—	
フルコスト	73,846	89,338	—		

施策の概要（細施策）

230101	地域コミュニティの活性化	<p>地域コミュニティの活性化を図るために、環境美化や防災・防犯、郷土芸能等、地域づくりに関する自発的な活動への支援を行います。</p> <p>また、生涯学習や地域活動の拠点である町内公民館の新築や増改築等、施設整備への助成を行います。</p> <p>さらに、市民が町内会活動などに安心して参加できるよう、保険加入の支援などを行います。</p>

【CHECK (評価) 施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

町内会加入のメリットを感じられないので加入しないという世帯が増加している。若年層の未加入に加え、これまで加入していた高齢者世帯の町内会脱退も増加している。地域コミュニティを維持するためには、加入増加につながる町内会活動の取組及び高齢者が孤立しないような取組が必要であり、その取組に対する支援が課題である。

【ACTION (改善・改革)】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

地域コミュニティを維持するために、住民主導型地域活性化事業の運用等を見直すとともに、今後も地域活性化につながる取組への支援を継続していく。また、地域コミュニティの活性化により、コミュニティ組織の土台となる町内会への加入増加につながるよう、大村市町内会長会連合会などと連携しながら町内会活動の取組に対する支援を行う。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費(千円)	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	